

事務事業名		佐野市交通安全推進協議会事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課
	政策	1 安心して安全に暮らせるまちづくり						担当係	生活安全係	担当課長名	菊地昌之	
	施策	2 交通安全・防犯対策の推進						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 交通安全意識の高揚						実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
	1563	一般	2	1	10	佐野市交通安全推進協議会事業		任意的事業・義務的事業	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S39年度～ 年度		根拠法令 条例等			実施方法	直営			
								事業分類	支援事業			
								リーディングプロジェクト	該当なし			
							市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市交通安全推進協議会に交付金を支出し、同協議会が行う交通安全活動を支援している。 ※佐野市交通安全推進協議会とは、本市の交通安全対策の推進を目的として、交通関係機関、団体及び市関係職員等を会員として構成している団体である。			(市の活動) 交通安全運動等の交通安全対策事業の立案、市が事務局 (佐野市交通安全推進協議会の活動) 交通安全運動、佐野市交通安全推進市民大会等の交通安全対策事業の実施、交通安全対策に関する広報及び啓発活動の実施、総会及び常任委員会の開催							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			団体の活動数	事業	19	19	18	18	18	
			団体の活動規模(事業参加者数)	人	4,450	4,500	4,500	4,500	4,500	
			団体の活動規模(啓発チラシ等の配布部数)	部	27,700	28,000	28,000	28,000	28,000	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 市民 (交付対象団体) 佐野市交通安全推進協議会			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市民(人口)	人	123,182	122,582	121,522	121,522	121,522	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
① 交通安全に対する意識を高めてもらう。 ② 交通ルールを守ってもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			交通事故件数/市民	%	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故を減少させる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			交通事故件数	件	460	437	540	530	520	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	800	800	800	800	800	
	事業費計(A)	千円	800	800	800	800	800	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	800	交付金	800	交付金	800
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	600	600	600	600	600		
人件費計(B)	千円	2,335	2,365	2,365	2,365	2,365		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,135	3,165	3,165	3,165	3,165		

事務事業名	佐野市交通安全推進協議会事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	生活安全係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	交通量の増大に伴い交通事故が増加し、官民一体となった交通安全対策が急務となり、そのため、交通関係機関、団体及び市関係職員等を委員とした同協議会を立ち上げ、交通安全対策事業を実施し、本市の交通事故の減少を目指して、昭和39年度から事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、東北自動車道及び北関東自動車道の開通や大型ショッピングの出店など、交通環境の変化により死亡事故等の重大な事故が増加している。特に、高齢化社会に伴い高齢者が当事者となる交通事故が増加している。また近年は、女性が当事者となる死亡事故が多発し、対策が迫られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	補助金等検討委員会の委員から、補助は妥当と考えるが、効率的な運営に努めるようにとの提言があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業内容の見直しを行い、年3回の交通安全期間中の啓発活動の内容の充実、交通安全運動期間中以外での街頭啓発活動などの充実を行なった

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市交通安全推進協議会が交通安全運動などの本市の交通安全対策を実施し、交通安全の啓発を図ることは市民の交通安全意識の高揚を高めるとともに、交通事故の減少に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	本市の交通事故防止を図ることは市の重要な責務であるが、市単独で交通事故防止を図るには限度があるため、佐野市交通安全推進協議会の活動を支援し、官民一体となって交通事故の減少を図ることは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、佐野市交通安全推進協議会が行う活動を支援し、官民一体となって市民への交通安全の啓発を図り、交通事故の減少を目指す目的で実施しており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	交通事故は減少傾向にあるが、街頭啓発等の交通安全対策事業を充実させることで、より向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	団体の決算書等の活動内容を見直した結果、減額の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	この事業は交付金のため、負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
安全・安心のまちづくりを図るために交通安全対策の推進が継続される限り、この事業を継続する必要がある。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) より多くの市民に対して啓発が図れるよう、交通安全運動期間中のほか、自転車通学の高校生などに街頭啓発等の交通安全対策事業を充実させて実施する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	会員の理解と協力を得る必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					